

外郭団体の評価に係る基本調書

<団体の概要>

団体名	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団						
所在地	相模原市中央区松が丘1丁目23番1号						
設立根拠	社会福祉法第22条						
設立年月日	平成6年4月1日						
設立者	相模原市						
市所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課						
基本財産	市の出資額	3,000	千円	主 な 出 資 者	名 称	出資額 (千円)	出資率
	3,000 千円	出資率	100.0		%		
設立目的	相模原市と連携し、相模原市における社会福祉事業の推進を図り、広く市民福祉の向上と増進に寄与することを目的として社会福祉事業を行う。						
事業内容	<p>1 第二種社会福祉事業</p> <p>(1) 障害福祉サービス事業の経営</p> <p>(2) 相談支援事業の経営</p> <p>(3) 移動支援事業の経営</p> <p>2 公益事業</p> <p>(1) 地域障害者施設支援事業</p> <p>(2) 障害者地域就労援助センター事業</p> <p>(3) 障害者就業・生活支援センター事業</p> <p>(4) 発達障害支援センター就労支援事業</p> <p>(5) 基幹相談支援センター等事業</p> <p>(6) 障害者相談支援キーステーション事業</p> <p>(7) 手話通訳者等養成事業</p> <p>(8) 障害者一時ケア事業</p> <p>(9) 相模原市立けやき体育館の管理・経営</p> <p>(10) 障害者余暇活動支援事業</p> <p>(11) 無料職業紹介事業</p>						

<人員配置>

役員	人数	常勤理事	2	非常勤理事	4	常勤監事	0	非常勤監事	2
		内市退職職員数	常勤理事	2	非常勤理事	0	常勤監事	0	非常勤監事
	任期	理事・監事とも、選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会終結の時まで							
	常勤役員平均報酬	2,562千円 (年額)							
評議員	人数	評議員	8						
		内市退職職員数	評議員	0					
	任期	選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで							

職員	人数	令和3年度	正規職員	36	他法人等からの派遣職員	0	準・契約職員	32	合計	68	
		令和2年度	正規職員	37	他法人等からの派遣職員	0	準・契約職員	33	合計	70	
		令和元年度	正規職員	36	他法人等からの派遣職員		準・契約職員	32	合計	68	
	給与体系	団体独自		役割をベースとした等級制度に基づく給料表							
	正規職員平均給料	4,177千円				正規職員平均手当	2,860千円				
	正規職員平均年齢	43.5歳									
	正規職員年齢構成	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～65歳	66歳以上			
		0人	6人	8人	14人	11人	0人	0人			
	正規職員役職構成	係員級	係長級	課長補佐級	課長級	参事級	部長級				
		22人	8人	2人	6人	1人	0人				
採用方法	公募により採用（令和4年4月1日付採用 4名）										

<組織及び分掌事務>

事務局	
総務課	<ul style="list-style-type: none"> 1. 法人本部運営 2. 障害者支援センター管理事業 - 指定管理 -
地域支援課	
就労援助チーム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者地域就労援助センター事業 - 指定管理 - ・ 障害者就業・生活支援センター事業 - 国・県委託事業 - ・ 発達障害支援センター就労支援事業 - 市委託事業 - ・ 無料職業紹介事業
人材育成チーム	<ul style="list-style-type: none"> 1. 地域障害者施設支援事業 - 指定管理 - <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉研修センター事業 ・ 障害福祉サービス事業所等人材確保事業 ・ 工賃アップ支援事業 2. 手話通訳者等養成事業 - 指定管理 -
生活相談課	<ul style="list-style-type: none"> 1. 基幹相談支援センター等事業 - 指定管理 - <ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹相談支援センターの運営 ・ 相模原市障害者自立支援協議会の運営 ・ 社会生活力を高める事業 2. 障害者相談支援キーステーション事業 - 市委託事業 - <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療的ケア児等コーディネーター事業 - 市委託事業 - 3. 障害者支援センター相談支援事業所 - 自主事業 -
福祉サービス課	
就労サービスチーム	<ul style="list-style-type: none"> 障害者支援センター多機能型事業所 - 指定管理 - <ul style="list-style-type: none"> ・ 自立訓練（生活訓練）事業 ・ 就労移行支援事業 ・ 就労継続支援B型事業 ・ 就労定着支援事業
生活サービスチーム	<ul style="list-style-type: none"> 障害者支援センター多機能型事業所 - 指定管理 - <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活介護事業（医療的ケア含む）
一時ケアチーム	<ul style="list-style-type: none"> 障害者一時ケア事業 - 指定管理 -（医療的ケア含む）
けやき体育館	<ul style="list-style-type: none"> 1. けやき体育館管理・運営事業 - 指定管理 - 2. 障害者余暇活動支援事業 - 指定管理 - <ul style="list-style-type: none"> ・ パラスポーツ及び文化活動の支援事業 ・ 余暇活動支援事業 3. けやきカフェの運営 - 自主事業 -
銀河	<ul style="list-style-type: none"> 1. 生活介護事業 - 自主事業 - 2. ガイドヘルプサービス事業 - 自主事業 -

<人材育成>

研修	実施回数	令和3年度	36	令和2年度	27	令和元年度	60
	受講人数	令和3年度	236	令和2年度	285	令和元年度	398
	主な研修の名称	障害者虐待防止セミナー/相談支援従事者研修/サービス管理責任者研修					
職員評価	評価制度の有無	有					
	評価の主な視点	人事評価実施要綱に基づき、各職員に達成して欲しいこと、職員個々に期待していることを伝え、「チャレンジする風土」を醸成する					
その他	その他実施していること	業務改善報告及び提案奨励制度の実施 資格取得一時金の支給による福祉系国家資格の取得奨励					

<情報発信>

情報紙	発行の有無	有					
	名称	広報紙「こもれび」					
	発行部数	令和3年度	2,000	令和2年度	1,000	令和元年度	2,000
	主な掲載内容	施設や事業でのイベントの告知と実施の報告、障害者雇用企業の紹介					
	ターゲット層	地域住民、関係機関					
ホームページ	開設の有無	有					
	主な掲載内容	利用案内、福祉研修センターの受講者募集、イベントの告知					
	ターゲット層	地域住民、福祉関係者、利用を希望する障害者とその関係者					
	URL	http://www.sagamihara-shafuku.or.jp/					
SNS	開設の有無	有					
	開設しているSNS	twitter (けやき体育館) アカウント名: @keyakitaiikukan					
	主な掲載内容	けやき体育館で実施するイベント等					
	ターゲット層	けやき体育館利用者					
その他	その他実施していること	<ul style="list-style-type: none"> ・「松が丘園祭」の開催による地域との交流 ・運営協議会の開催による利用者、家族、地域の方との情報交換 ・WAM NETでの法人情報の公表 					

<保有施設の状況>

施設の保有の有無		有
修繕計画の有無		無
修繕計画の主な内容		
保有施設	名称(築年数)・所在地	銀河 (7年) 相模原市中央区松が丘1-23-2
	機能	障害福祉サービス事業 (生活介護事業・ガイドヘルプサービス事業) の運営

<経営計画>

計画の策定	有
計画の名称	経営計画
計画期間	令和元年度～令和5年度
団体の役割・使命	人にやさしい そしてすべての人びとのための社会づくりを目指します。
団体の将来あるべき姿	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で”共にささえあい生きる社会”の実現に貢献します ・相模原市の障害福祉ネットワークの中心的な役割を果たします ・時代に即した福祉ニーズに挑戦します
主な内容	【基本計画】 重点プロジェクト/分野別基本計画 【実施計画】 分野別実施計画/事業別実施計画・指標

<主な実施事業>

事業名称		障害者支援センター多機能型事業所	
区分		社福	市からの受託
確定事業費(千円)		117,045	
事業説明	内容	第二種社会福祉事業・定員60名(通所) ・生活介護：医療的ケアが必要な重症心身障害者の日中活動(定員10名) ・自立訓練：若年障害者の就労準備と生活能力の向上(定員18名) ・就労移行支援：一般就労に向けたプログラム、企業実習(定員18名) ・就労継続支援B型：生産活動を中心とした働く意欲の向上(定員14名) ・就労定着支援：一般就労した者の職場定着のためのフォローアップ	
	成果	・生活介護：豊かな地域生活と看護師による医療的ケアを提供 ・自立訓練：生活能力の向上と就労に対する意識の醸成 ・就労移行支援：職業準備性の向上、企業実習延べ57日、就労者7名 ・就労継続支援B型：中途障害者の利用増加。工賃平均11,427円(月額/人)	
	課題	毎年特別支援学校を卒業する重症心身障害者を受け入れるスペースの確保 自立訓練・就労移行支援の利用者の増減による収入の不安定さ	

事業名称		けやき体育館	
区分		公益	市からの受託
確定事業費(千円)		60,525	
事業説明	内容	・障害者のためのスポーツ文化施設として体育室等の貸出を行う ・障害者余暇活動支援事業で、障害者スポーツ大会の支援、スポーツ・文化講座の実施、自主サークル活動の支援を行う	
	成果	・体育室諸室の利用回数2208.5回(うち障害者団体利用1661.5回) ・コロナ感染症の影響により、例年の余暇支援活動の代わりに、散歩の企画や動画配信等新しい取り組みを実施	
	課題	・減少した利用回数を、コロナ終息後にどのように回復させていくか ・コロナ禍により事業を利用できなくなっている障害者に対するアプローチ	

事業名称		銀河(生活介護事業・ガイドヘルプサービス事業)	
区分		社福	自主
確定事業費(千円)		125,220	
事業説明	内容	第二種社会福祉事業 ・生活介護事業(定員40名)：市療育センター再整備計画で民営化された第三陽光園の後継施設として平成27年開所。主に重度知的障害者が利用 ・ガイドヘルプサービス事業：同行援護・通院介助・移動支援の外出介護を提供	
	成果	・生活介護：利用者の個性に合わせた日中活動の提供。利用者41名、利用率79.4% ・ガイドヘルプサービス事業：視覚障害者等の外出困難な障害者へのガイドヘルパー派遣、利用者101名 利用件数2,614件	
	課題	・安定的した経営を保つための利用者の確保、新規利用者の獲得。 ・利用者及び介護者の高齢化に伴う対応(生活介護・ガイドヘルプ)。 ・コロナ禍におけるガイドヘルパー派遣時間数の低下による収入の減少。	

<団体運営に対する考え方>

外郭団体としての必要性、役割	
当事業団は、相模原市が策定した「共にささえあい生きる社会 さがみはら障害者プラン」において『障害福祉推進の中核的組織』と位置付けられており、引き続き相模原市の政策パートナーとして、社会福祉事業の推進を図る役割を果たしていく	
公益的使命の達成について	
○現状と将来のあるべき姿	
第2種社会福祉事業及び社会福祉に関連する各種公益事業を行っている。これら事業を運営し、相模原市における障害福祉の専門的、実践的視点から、様々な地域の課題に対し、時代に合わせた新たな取り組みを行い、相模原市の障害福祉推進の中核的な存在として、公益的使命を果たしていく。	
○今後の取組	
団体	医療的ケア児者など、高度に専門的なケアを必要とする利用者へのサービス拡充を図るとともに、相模原市の障害福祉を担う福祉従事者の人材育成、地域の相談支援の体制整備等を通じて、相模原市の障害福祉推進の中核的役割を担う。
所管課	社会福祉事業団の役割を果たすため、積極的に新規事業に取り組むとともに、効率的・効果的な法人運営が行えるように、情報の共有を行いながら支援をしていく。
事業の再整理・重点化について	
○現状と将来のあるべき姿	
次期指定管理に向けて、各事業の見直しを図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・障害者支援センター多機能型事業所の事業内容等の見直し ・福祉研修センターの研修メニューの再編による市内福祉従事者の支援力向上 ・基幹相談支援センターにおける地域の相談支援体制強化の取組の充実 	
○今後の取組	
団体	次期指定管理事業の提案にむけて、これまで継続してきた事業の成果を踏まえ、令和4年度内に、次期経営計画（令和6年度から5カ年）を策定するとともに、事業毎の課題・あり方の検討・整理を行い、よりよい支援に向けた事業の見直し・拡充等に取り組む。
所管課	次期指定管理事業については、これまで継続してきた取組を維持しながら、よりよい支援に向けて、各事業の見直し・拡充等を行っていく。
組織について	
○現状と将来のあるべき姿	
正規職員の管理職登用が進み、すべての課長職と事務局長を配属できるようになった。今年度から、正規職員の定年退職者が出るので、次の管理職候補の育成と確実な新規採用が、安定した法人運営に不可欠と考える。	
○今後の取組	
団体	新規採用の年2回の定例化 職員研修の更なる充実・強化
所管課	職員の募集に当たっては、広報さがみはらへの掲載を行い、人材の確保ができるように支援を行っている。
財政状況の改善について	
○現状と将来のあるべき姿	
令和2年度、令和3年度の決算では、コロナ禍における利用率の低下により、自立支援給付費収入がやや低下したものの、次年度に向けては影響が回復傾向にあり、コロナ以前に戻る見込みである。	
○今後の取組	
団体	新たな利用者確保に向けて、特別支援学校・関係機関との情報交換の機会を増やす。徹底した感染予防対策を講じて、現契約者の利用控えを減らしていく。
所管課	団体の自主的な運営を促しながら、運営費補助金については、団体と調整を行いながら、真に必要な金額の確保に努めていく。

<今後の方向性>

経営上の課題	団体	少子化等の影響により、正規職員の採用に対して、新規学卒者の応募が一桁という状況がここ数年続いている。福祉サービス事業は「人」がすべてであるので、採用活動の多様化、魅力的な職場づくりとその情報の効果的な発信が必要である。
	所管課	募集人数に対し、応募者人数が減少しており、人材が不足している。職員の定着も含め人材の確保に努める必要がある。
今後の取組	団体	新規学卒者に加え、中途採用を秋～冬にかけて行い、採用活動の年2回定例化を図る。(R4年度) 福祉の職場体験会の開催、インターンシップの受入を検討する。
	所管課	職員の採用については、採用活動の多様化、魅力的な職場づくりとその情報の効果的な発信が必要であると考えます。また、採用だけではなく、現在の職員の定着についても取組んでいただきたい。

外郭団体改革推進計画の進行管理シート

団体名	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団
-----	-------------------

改革の方向性	引き続き経営効率化に取り組む
	<p>◎市立障害者支援センターにおける既存事業の見直しを行い、他の社会福祉法人等で対応が可能な事業については、縮小やコーディネーター役としての関わり方へ移行を進めることで、より専門的な事業に重点を置いた事業展開を行う。</p> <p>◎自主事業の拡充に取り組むとともに、専門家による財務会計に関する支援を受ける体制を整え、ガバナンスの強化と経営安定化を図る。</p>

取組項目	市立障害者支援センター松が丘園における先駆的な事業の展開 (医療的ケアが必要な者の受け入れ体制拡充)			
目標	令和2年度(参考)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	一時ケアの利用時間拡大 (午後8時まで)	一時ケアの利用時間拡大 (午後8時まで)	一時ケアの利用時間拡大 (午後8時まで)	一時ケアの利用時間拡大 (午後8時まで)
取組内容	・市重度心身障害者ネットワーク等の情報収集 ・医療的ケア委員会での検討	・市重度心身障害者ネットワーク等の情報収集 ・医療的ケア委員会での検討	・市重度心身障害者ネットワーク等の情報収集 ・医療的ケア委員会での検討	・市重度心身障害者ネットワーク等の情報収集 ・医療的ケア委員会での検討
実績	医療的ケアが必要な方に対し、平日午後8時まで受け入れ	医療的ケアが必要な方に対し、土・日・祝午後8時まで受け入れ		
取組内容実績	引き続き医療的ケア委員会での検討をしていく	引き続き医療的ケア委員会での検討をしていく		

取組項目	市立障害者支援センター松が丘園における先駆的な事業の展開 (より就労が困難な障害者の就労支援体制の構築)			
目標	令和2年度(参考)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	障害者の就労者数 54人	障害者の就労者数 56人	障害者の就労者数 58人	障害者の就労者数 60人
取組内容	・障害者、事業者双方のニーズ分析 ・専門スタッフの充実	・障害者、事業者とのマッチング機会の拡大 ・専門スタッフの充実	・相談拠点の充実 ・専門スタッフの充実	・相談拠点の充実 ・専門スタッフの充実
実績	障害者の就労者数70名	障害者の就労者数62名		
取組内容実績	・ニーズ分析を丁寧に行った	・ニーズ分析を丁寧に行った		

取組項目	総務管理事務の効率化(委託等による総務管理費の見直し等)			
目標	令和2年度(参考)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	総務管理事務の分析、検証、評価	総務管理事務の分析、検証、評価	総務管理事務の分析、検証、評価	総務管理事務の分析、検証、評価
取組内容	委託化及び情報通信ネットワークやクラウド技術等のICT利活用の研究	委託化及び情報通信ネットワークやクラウド技術等のICT利活用の研究	委託化及びICT利活用の総務管理事務への適用の検討	委託化及びICTの利活用の総務管理事務への一部導入
実績	現在の環境を整理し、新規に利用できる技術を検証した	共有データサーバーのクラウド化勤怠管理システム導入		
取組内容実績	具体的に利用できそうなサービスをリストアップし、運用可能か検証した	現状の運用との整合性をとるためのテストを実施		

取組項目	法人自主事業（障害福祉サービス事業所銀河）の拡充			
目標	令和2年度(参考)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	新たな自主事業の検討	新たな自主事業の検討	新たな自主事業の準備	新たな自主事業の準備
取組内容	・既存事業の評価、検証 ・ニーズの把握 ・他の事業所の動向の把握	・既存事業の評価、検証 ・新規事業の検討	新規事業に向けた準備	新規事業に向けた準備
実績	サービス利用者に対し、ニーズの把握に努めた	課題やニーズを分析し、新規自主事業を提案		
取組内容実績	コロナ感染症対応中であり、平常時のニーズ把握は難しかったため、次年度実施	事業団の将来像を考える職員勉強会を年間11回実施した。		

取組項目	財務会計の専門家の活用による、より適切な財務会計事務処理体制の構築			
目標	令和2年度(参考)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	新たな事務処理体制の検討	新たな事務処理体制の実施	新たな事務処理体制の実施	新たな事務処理体制の実施
取組内容	「財務会計に関する事務処理体制支援」導入の検討	「財務会計に関する事務処理体制支援」の導入	「財務会計に関する事務処理体制支援」の導入	「財務会計に関する事務処理体制支援」の導入
実績	導入に向けて税務顧問と相談した	導入済み		
取組内容実績	チェックシートを基に、事務処理内容を確認した	税務顧問に依頼し、実施		

取組項目	市立障害者支援センター松が丘園における環境の変化やニーズに対応した事業展開（既存事業の見直し及び新たな事業の実施）			
目標	令和2年度(参考)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	既存事業の分析	既存事業の検証	既存事業の見直し	既存事業の再構築
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 既存事業の評価、検証 ニーズの把握 他の事業所の動向の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 既存事業の評価、検証 ニーズの把握 他の事業所の動向の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 既存事業の評価、検証 新規事業の検討 スクラップ&ビルド 	<ul style="list-style-type: none"> 既存事業の評価、検証 新規事業の検討 スクラップ&ビルド
実績	所属内で既存事業の有用性について検証した	外部から求められていることと、内部の課題を分析。将来に向けて事業化していくことを整理した		
取組内容実績	コロナ感染症対応中でもあり、平常時のニーズ把握は難しかったため、次年度実施	事業団の将来像を考える職員勉強会を年間11回実施した		

外郭団体の財政状況調書（社会福祉法人版）

団体名	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団
-----	-------------------

単位：千円

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
経常収益		753,782	733,106	725,370	678,457	678,275	
経常費用		685,747	742,667	705,597	672,920	673,895	
	社会福祉事業費	392,461	427,333	395,574	361,753	361,412	
	公益目的事業費	293,286	315,334	310,023	311,167	312,483	
	収益事業費	0	0	0	0	0	
当期経常増減額		68,035	-9,560	19,773	5,537	4,379	
収益合計		754,157	737,237	730,105	682,588	682,905	
費用合計		786,110	798,945	709,728	677,051	678,026	
	人件費	487,943	511,620	510,379	476,546	469,379	
当期活動増減差額		-31,953	-61,707	20,377	5,537	4,879	
前期繰越活動増減差額		173,393	208,584	165,526	145,060	151,088	
次期繰越活動増減差額		208,584	165,526	145,060	151,088	150,745	
貸借対照表	資産	流動資産	298,613	273,688	172,099	187,736	212,048
		固定資産	658,181	641,786	722,025	767,483	824,363
		資産合計	956,794	915,474	894,124	955,218	1,036,411
	負債	流動負債	143,866	158,487	74,022	81,894	104,420
		固定負債	331,061	329,341	372,530	421,450	475,114
		負債合計	474,926	487,828	446,552	503,344	579,534
	純資産	基本金	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
		次期繰越活動増減差額	208,584	165,526	145,060	151,088	150,745
		純資産合計	481,867	427,645	447,572	451,875	456,876
	負債・純資産合計		956,794	915,474	894,124	955,218	1,036,411
市の援助・市費受入状況	補助金		45,166	47,526	43,543	48,696	47,074
		事業費	363	4,131	4,131	4,131	4,131
		管理費	44,803	43,395	39,412	38,465	37,723
		指定管理施設維持化支援事業	—	—	—	6,100	5,220
	交付金		0	0	0	0	0
	負担金		0	0	0	0	0
委託料（指定管理料含む）		374,940	355,774	343,431	329,976	328,713	
安全性	自己資本比率		50.4%	46.7%	50.1%	47.3%	44.1%
	流動比率		207.6%	172.7%	232.5%	229.2%	203.1%
	固定比率		136.6%	150.1%	161.3%	169.8%	180.4%
	固定長期適合率		81.0%	84.8%	88.0%	87.9%	88.5%
	経常比率		109.9%	98.7%	102.8%	100.8%	100.6%
効率性	人件費率		64.7%	69.8%	70.4%	70.2%	69.2%
自立性	市への財政依存度		55.7%	54.7%	53.0%	55.5%	55.0%
収益性	総資本経常利益率		32.6%	-5.8%	13.6%	3.7%	2.9%
その他	社会福祉事業比率		57.2%	57.5%	56.1%	53.8%	53.6%
	公益目的事業比率		42.8%	42.5%	43.9%	46.2%	46.4%
	収益事業比率		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%